

# 第1期真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施状況一覧表 (令和2年3月31日現在)

地方創生に向けて、真庭市総合計画で示す真庭市の将来像の達成のための5カ年（平成27年度～令和元年度）の具体的な実施計画として、市の実情に応じた主体的な施策を企画し、各施策を総合的・有機的な「政策パッケージ」として実施。

## 1 真庭にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ①「真庭ライフスタイル」実現のための良質な雇用環境の創出
- ②「木を使い切る真庭」の創出
- ③「回る経済」実現のための地域資源を活用した魅力ある「しごと」の創出

## 2 真庭への新しいひとの流れをつくる

- ①地域振興事業：地域資源を生かした地域活性化（地域住民を対象とした事業）
- ②真庭市売り出し（シティプロモーション）の推進（内と外を繋ぐ事業）
- ③真庭市へ「おいでんさい」（市外の人に対する交流・定住促進事業）

## 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望と教育・社会福祉を地域で支える仕組みをつくる


- ①結婚の夢をかなえる（出会い・結婚）
- ②安心できる出産・子育て支援
- ③子どもと大人を応援する教育支援

## 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

- ①だれもが生活しやすい都市づくり（都市基盤・機能向上）
- ②豊かな暮らしを支える仕組みづくり（制度・人的仕組）

## 5 地域と地域を連携する（広域連携の推進）

- ①地域連携による経済成長
- ②地域連携による高次都市機能の集積
- ③地域連携による生活関連機能サービスの向上

 未達成事業

# 1. 真庭にしごとをつくり、安心して働けるようにする

## 1) 基本目標

①雇用者数の増：5年間で200人 → 492人

②うち青年層の雇用者数の増：5年間で100人 → 466人

## 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

### ①「真庭ライフスタイル」実現のための良質な雇用環境の創出

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
産業振興ビジョンの策定 ◎市の産業構造や地域特性を踏まえた雇用戦略の構築	・起業・創業数：10件/年 ・雇用者数：50人 ・地域内循環経済のキーとなる中核企業数：1社	・起業・創業数：16件/年 ・雇用者数：336人 ・地域内循環経済のキーとなる中核企業数：1社	・産業振興ビジョン策定事業【H27】 (市の経済産業の方向性を示す「経済産業ビジョン」、その基礎計画となる「産業振興ビジョン」の策定、「地域経済分析システム」を活用した市内産業の構造分析調査)	・産業振興ビジョン策定時期：H28.3 ・構造分析調査実施時期：H27.10	・産業振興ビジョン策定時期：H28.6 ・構造分析調査実施時期：H28.3
真庭の「しごと」魅力発信事業 ◎市内外への「しごと」の魅力発信による雇用拡大	・アンケート満足度（企業側・求職側）：60%以上	・アンケート未実施	・市内企業魅力発信事業【H28～H31】 (高校生とメディアとの連携による魅力発信、大学生向け市内事業者ツアー、女性の活躍の場の紹介)	・紹介企業数：20社 ・参加者数：100人	・紹介企業数：51社 ・参加者数：51人
新たな事業の創出を通じた「しごと」場の創出 ◎産学官金との連携による新事業開発、起業支援	・起業・新事業件数：50件（10件/年）	・起業・新事業件数：83件（16件/年）	・市内企業のネットワーク構築事業【H28～H31】 (真庭商工会と連携し産業団地立地企業やものづくり事業者のネットワークを構築、バイオマスラボの有効活用、産学官連携の推進)	・ネットワーク参加企業数：30件	・ネットワーク参加企業数：20社
			・異業種交流事業（北房地域）【H27～H31】 (地域事業者の異業種間の交流による産業連携事業の創出)	・交流会実施回数：3回/年	・交流会実施回数：4回/年
			・起業支援強化事業【H28～H31】 (商工会や金融機関等との連携による支援体制強化、起業支援補助金の充実、創業塾・セミナーの開催)	・住民主体の起業（NPO等）件数：3件 ・女性の起業数：5件	・住民主体の起業（NPO等）件数：1件 ・女性の起業数：20件
			・空き施設活用ビジネスチャレンジ支援事業【H28～H31】 (空き店舗、空き別荘等を活用した起業の支援)	・相談件数：10件	・相談件数：5件

②「木を使い切る真庭」の創出					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
里山真庭の森林資源がつなが「まち・ひと・しごと」づくり ◎真庭産木材の安定供給体制の構築により起業及び雇用を創出 ◎「木のまち」のPRによるまちのにぎわいの創出	・新規雇用者数：CLT製造工場・ラミナ製造工場・裾野産業：100人 ・素材生産量（原木量）：30%増（10万m <sup>3</sup> （H25）→13万m <sup>3</sup> ）	・新規雇用者数：CLT製造工場・ラミナ製造工場・裾野産業：120人 ・素材生産量（原木量）：10%増（10万m <sup>3</sup> （H25）→11万m <sup>3</sup> （R1））	・里山真庭の森林づくり推進事業【H27～H31】 （森林経営の効率化の実践、持続可能な森林と林業を担うひと（組織）づくり、不在地主所有山林への対応）	・森林経営モデル施業の企画・実践 H28.9 ・高性能林業機械の実証 H28.10 ・獣害対策の実務者向けセミナーの開催H28.11	・森林経営モデル施業の企画・実践：継続事業として実施中。 ・高性能林業機械の実証：平成27年8月実施済 ・獣害対策の実務者向けセミナーの開催：延べ830人参加
			・森のつながりを感じる「木のまち」中心市街地再生事業【H28～H31】 （木製（CLT）看板で里山の歴史と連携を表示、体験ツアー開催・まち歩きマップ作成）	・交流人口：5,000人	・交流人口：6,070人
木質バイオマス燃焼灰活用の推進 ◎バイオマス発電廃棄物利活用による地域産業の創出	・地域内循環のキーとなる中核企業数：2社	・地域内循環のキーとなる中核企業数：1社	・廃棄灰の活用に向けた研究・開発への支援事業【H27～H31】	・新産業創出：1事業	・新産業創出：1事業

③「回る経済」実現のための地域資源を活用した魅力ある「しごと」創出					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
生ごみ資源化による地域産業の創出 ◎廃棄物の資源化・循環化による地域産業の創出	・生ごみ等資源化事業の起業：1件 ・新規雇用者数：8人	・生ごみ等資源化事業の起業：0件 ・新規雇用者数：4人	・生ごみ資源化地域産業事業【H27～H31】 （生ごみ等の資源化事業の実施、地元農家での利活用）	・施設集約：3施設→1施設 ・廃棄物処理経費削減：1.5億円減 ・ごみ処理量：12,000t⇒10,720t	・施設集約：3施設→3施設 ・廃棄物処理経費削減：集約化未実施のため算出なし ・ごみ処理量：12,000t⇒10,924t(R1)
まにわ「ふるさと名物」応援事業 ◎地域資源を活用した「ふるさと名物」の事業化による雇用の創出	・事業化件数：5件(1件/年)	・事業化件数：26件(8件/年)	・「ふるさと名物」応援のための補助金制度の拡充【H28～H31】	・支援件数：10件/年	・支援件数：8件/年
			・「上野こうげ」の活用から地域の一体感をつくる事業（久世地域）【H27～H31】 （地域の一体感を醸成し、地域資源を活用した商品開発や販路開拓を目指す）	・特産品開発数：4品 ・販路開拓数：10件	・特産品開発数：2品 ・販路開拓数：6件
山村活性化支援事業 ◎山村の豊かな地域資源の活用による雇用の増大に向けた取り組み支援	・富原 富原茶ペットボトル売上本数：60,000本 ・美甘 新商品開発：3品 ヒメノモチ生産量：38ha	・富原 富原茶ペットボトル売上本数：106,000本 ・美甘 新商品開発：4品 ヒメノモチ生産量：38ha	・山村活性化支援事業【H28～H30】 （地域資源の住民連携による発掘・活用、地域振興活動・生活サポート活動の強化）	・富原 ・市外販路開拓：5ヶ所 ・ペットボトル売上本数：24,000本 【美甘】 ・美甘産のヒメノモチ確保数量：150俵 ・商品ブラッシュアップ：3品	【富原】 ・市外販路開拓：3ヶ所 ・ペットボトル売上本数：26,000本 【美甘】 ・美甘産のヒメノモチ確保数量：170俵 ・商品ブラッシュアップ・開発：4品
農村集落活性化支援事業 ◎将来構想の作成、労働力不足の補完による集落機能の維持	・地域雇用の創出：3人	・地域雇用の創出：6人	・農村集落活性化事業【H28～H31】 （学生の受け入れ、環境保全活動、薪による地域内資源循環システムの活動の強化）	・庭先野菜の集出荷体制構築：1か所 ・農産物出荷グループの結成：1団体 ・農産加工品の開発：5品目 ・農家レストラン経営団体設立：1団体	・庭先野菜の集出荷体制構築：1か所 ・農産物出荷グループの結成：1団体 ・農産加工品の開発：5品目 ・農家レストラン経営団体設立：0団体

③「回る経済」実現のための地域資源を活用した魅力ある「しごと」創出					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
地域産物のヨーロッパ展開戦略的推進のための支援プラットフォーム構築事業 ◎地域産物に係る海外展開の戦略的推進をワンストップ支援するプラットフォームの構築	・新規雇用者数：30人 ・輸出品目数：5件／5年	・新規雇用者数：未集計 ・輸出品目数：3件／5年	・ヨーロッパを中心としたマーケティング事業【H28～H31】 (真庭産品の目利き機能の設置、海外でのマーケティング調査、真庭フェアの開催)	・真庭産品の強み、弱みの調査分析結果：H29.3 ・海外でのマーケティング調査結果：H29.3	・真庭産品の強み、弱みの調査分析結果：H28、H29 ・海外でのマーケティング調査結果：H28～H31英国で実施。H29、H30仏国で実施
			・名物開発・ブランド化支援事業【H28～H31】 (ブランド確立のための集中支援、担い手育成のための取り組み)	・商品化件数：1件／年	・商品化件数：1件／年
			・海外展開に向けた人的ネットワーク構築事業【H28～H31】 (クリア国際交流員の活用、クリアロンドンとの連携、中国経産局、中小機構、ジェットロとの連携)	・支援組織活用件数：2件／年	・支援組織活用件数：2件／年
地域資源を活用した海外展開戦略事業 ◎インバウンド対策と輸出の振興	・輸出品目数：5件／5年	・輸出品目数：2件／5年	・海外展開のための人材確保と人的ネットワーク構築事業【H28～H31】 (国際交流の推進、インバウンド対策、輸出の振興)	・国際交流員：1名設置	・国際交流員：1名設置
観光推進体制の強化 ◎観光振興体制強化（真庭市版DMO）による観光産業活性化	・観光産業求人増加数：延べ25人（5人/年）	・観光産業求人増加数：未集計	・広域連携による観光振興事業【H27～H31】 (真庭版DMOの形成、来る人目線の観光プラン作成、周辺地域と連動した周遊プランの構築)	・入込客数：400万人/年 ・真庭市版DMO形成年度：H30年度	・入込客数：326万人/年 ・真庭市版DMO形成年度：H30年度
			・インバウンド対策事業【H28～H31】 (サインージ、WiFi、トイレ等のハード面の整備、通訳ボランティア、ガイドの育成)	・外国人入込客数：2,000人/年	・外国人入込客数：4,645人/年
農業の基盤強化 ◎農業の基盤強化による農業従事者の確保	・農業生産法人・法人参入数：5件（1件/年）	・農業生産法人・法人参入数：4件（0.80件/年）	・き農プロジェクト事業【H28～H31】 (真庭来農スクールの開設、受け入れ農家研修、起農塾の開設)	・新規就農者数：7人	・新規就農者数：6人

## 2. 真庭への新しいひとの流れをつくる

①転入者数：5年間で100人増加 → 143人増加

②転出者数：5年間で50人減少 → 43人減少

③交流人口：5年間で22,000人増加 → 20,409人増加

④移住希望者の真庭市認知度：3年間で27%→30% → 30%

### 具体的な施策及び重要業績評価指標（K P I）

#### ①地域振興事業：地域資源を生かした地域活性化（地域住民を対象とした事業）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
個性ある地域資源を生かした地域振興事業 ◎地域資源を活用し、住民が主役となる取り組みの構築	・転出者数減：30人 ・交流人口：12,000人	・転出者数減：42人 ・交流人口：15,650人	・勝山地域振興事業（カレッジプロジェクト）【H27～H31】 （地域や学校、企業、行政の連携により、地域を学ぶ「地域学」の拠点を構築。振興局内に大学等のサテライト共同研究室を設置し、研究支援）	・研究室利用者数：70人 ・連携学校数：10校 ・連携企業数：10社	・研究室利用者数：771人 ・連携学校数：7校 ・連携企業数：5社
			・湯原地域振興事業（式内八社）【H27～H31】 （歴史調査から掘り起こされた地域資源を観光・交流・定住につなげる）	・交流人口：260人	・交流人口：1,424人
			・湯原地域振興事業（魅力発見）【H28～H31】 （真庭の木を使った木工土産づくり）	・定住者数：2人 ・交流人口：20人	・定住者数：3人 ・交流人口：2,217人
			・湯原地域振興事業（トライアスロン）【H27～H31】 （トライアスロン大会の受皿づくりを行い、地域活性化と地域力の向上を図る）	・交流人口（選手参加者数）：1,670人 ・ボランティア参加数：1,100人	・交流人口（選手参加者数）：1,068人 ・ボランティア参加数：950人
			・北房地域振興事業（阿口）【H28～H31】 （旧阿口小学校を活用した、地域間交流、キムチづくり体験などの取り組みによるネットワークの構築）	・地域担い手組織設立：1組織	・地域担い手組織設立：0組織
			・森のつながりを感じる「木のまち」中心市街地再生事業【H28～H31】（再掲） （木製（C L T）看板で里山の歴史と連携を表示、体験ツアー開催・まち歩きマップ作成）	・交流人口：5,000人	・交流人口：6,070人
里山真庭の森林資源が「まち・ひと・しごと」づくり（再掲） ◎真庭産木材の安定供給体制の構築により起業及び雇用を創出 ◎「木のまち」をP Rによるまちのにぎわいに創出					

②真庭市売り出し（シティプロモーション）の推進（内と外を繋ぐ事業：市民には「まち」のことを知る・誇り、市外には「まち」のことを知らせる事業）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
シティプロモーションの推進 ◎市の魅力を効率的・効果的に収集し、内外に発信する仕組みを構築	・移住希望者の真庭市認知度：27%→30%/3年	・移住希望者の真庭市認知度：27%→30%/3年	・シティプロモーション推進事業【H27～H31】 （効果的、効率的な情報発信の積極的な展開）	・まにぞう着ぐるみ貸し出し件数：130件 ・公式FB開設・更新回数：79回 ・ホームページアクセス件数：664万件 ・まにぞうメディアへの登場回数：64回 ・まにぞう専用HPアクセス数：8万件 ・動画再生回数：51,600回	・まにぞう着ぐるみ貸し出し件数：182件 ・公式FB開設・更新回数：284回 ・ホームページアクセス件数：345万件 ・まにぞうメディアへの登場回数：30回 ・まにぞう専用HPアクセス数：未開設 ・動画再生回数：27,000回
			・関西認知度アップ事業【H27～H31】 （真庭市場等の活用やイベント等重点的に取り組み、更なる認知度アップにつなげる）	・イベント開催数：21回 ・来店客数：951,000人 ・関西メディア出演件数：26件	・イベント開催数：24回 ・来店客数：631,385人 ・関西メディア出演件数：30件
			・真庭ファンデータベース活用事業【H27～H31】 （真庭を応援してくれている人をデータベースで一元管理し、効果的・効率的な発信につなげる）	・データベース登録者数：13,600人 ・情報発信回数：14回	・データベース登録者数：4,000人 ・情報発信回数：68回



③真庭市へ「おいでんさい」（市外の人に対する交流・定住促進事業）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
定住促進の仕組みを構築 ◎交流から定住に繋げる取り組みの推進	・移住者数：100人	・移住者数：140人	・交流定住推進事業 【H27～H31】 （地域資源のデータベース化事業、廃校等を活用した、地域の学びや交流の場づくり、都市と農山村をつなぐ相談窓口で悩みがスッキリ事業）	・プラットフォームHP構築数：5件 ・新コンテンツ追加数：15件 ・情報発信サイト団体数：80件 ・相談会参加回数：50回 ・活用基本方針策定・廃校活用件数：3件 ・移住相談件数：60件 ・移住者数：75人 ・相談窓口相談件数：350件	・プラットフォームHP構築数：3件 ・新コンテンツ追加数：15件 ・情報発信サイト団体数：27件 ・相談会参加回数：53回 ・活用基本方針策定・廃校活用件数：6件 ・移住相談件数：268件 ・移住者数：136人 ・相談窓口相談件数：338件
			・交流定住推進事業（アクションプラン実現）【H27～H31】 （相談会等の開催による知名度向上や移住促進）	・交流人口：500人	・交流人口：4,100人
			・空き家活用補助事業【H27～H31】 （地域と行政が一体となり、空き家の登録を増やし空き家活用を促進する）	・補助金利用件数：45件	・補助金利用件数：160件
			・交流・定住人材育成事業（なりわい塾）【H27～H31】 （真庭でくらすための“塾”を開催し、交流・定住につなげる）	・なりわい塾参加者数：100人 ・なりわい塾開催回数：40回 ・移住者数：5人	・なりわい塾参加者数：90人 ・なりわい塾開催回数：33回 ・移住者数：4人
			・空き家情報バンク推進事業【H27～H31】 （地域と行政が一体となり、空き家の登録を増やし空き家活用を促進する）	・空き家情報バンク登録件数：160件	・空き家情報バンク登録件数：148件
			・お試し住宅推進事業【H27～H31】 （真庭を知ってもらうためにお試し住宅を利用しやすくし、移住等につなげる）	・利用件数：75件	・利用件数：52件

③真庭市へ「おいでんさい」（市外の人に対する交流・定住促進事業）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
地域の特性を生かした交流定住促進事業 ◎地域資源を活用した、交流から定住に繋げる取り組みの推進	・転出者数減：20人 ・交流人口：10,000人	・転出者数減：42人（再掲） ・交流人口：4,669人	・北房地域振興事業（すっぽん活用）【H28～H31】 （すっぽんを北房の地域資源として、地域振興の仕組みを構築）	・交流人口：210人 ・提供施設数：5件	・交流人口：74人 ・提供施設数：4件
			・皆部商店街まちづくり事業【H28～H31】 （皆部商店街を昭和の香り漂う町並みに再現し、地域資源を活用した取り組みで地域活性化を図る）	・交流人口：5,440人 ・協力店舗数：8件	・交流人口：1,530人 ・協力店舗数：4件
			・久世地域振興事業（余野）【H28～H31】 （余野地域の資源を活用して、移住・定住のモデルケースを作る）	・プログラム実施数：25件 ・交流人口：4,500人	・プログラム実施数：18件 ・交流人口：3,023人
			・勝山地域振興事業（町並み活性化）【H27～H31】 （空き家、空き施設の移住者受け入れや移住体験施設への活用）	・利用空き施設：7件	・利用空き施設：4件
			・別荘等利活用事業（蒜山地域）【H27～H31】 （空き別荘等を活用し、「貸す」「売る」等ができる体制整備を地域と行政が一体となって取り組む）	・交流人口：30人	・交流人口：42人

### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望と教育・社会福祉を地域で支える仕組みをつくる

#### 1) 基本目標

①合計特殊出生率：5年後に1.94を達成 → 1.91（2013～2017の平均値）

②出産年齢女性人口割合：5年後に15.1%を維持 → 15.2%

#### 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

##### ①結婚の夢をかなえる（出会い・結婚）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
<p>まにわの「わ」づくり（出会いの場をつくる）</p> <p>◎若いひとの交流などを通じて、人と人の出会いの場を作ることで、結婚の機会の可能性を上げる</p>	<p>・イベント参加者・縁結び活動による成婚数：のべ13組</p>	<p>・イベント参加者・縁結び活動による成婚数：のべ10組</p>	<p>・ハッピーコンシェルジュ事業（結婚推進）【H28～H31】 （若者の交流機会の増加や若者に対するセミナーの開催により、結婚に対して希望を持てる雰囲気醸成する。）</p>	<p>ハッピーコンシェルジュ事業参加人数：のべ50人</p> <p>・交流ネットワークイベント開催回数：のべ10回</p> <p>・ネットワーク参加団体数：3団体</p> <p>・スマイルフューチャー事業参加人数：のべ200人</p>	<p>ハッピーコンシェルジュ事業参加人数：のべ112人</p> <p>・交流ネットワークイベント開催回数：のべ9回</p> <p>・ネットワーク参加団体数：3団体</p> <p>・スマイルフューチャー事業参加人数：のべ176人</p>
<p>Love♡Love♡Love（結婚したい人を増やす）</p> <p>◎いのちや家族、そして自分の大切さを学ぶことを通じて、結婚に対する積極的な気持ちの醸成を働きかけるとともに、子育てに対する理解を深める</p>	<p>・事業参加者のアンケートにより、結婚し子どもを持ちたいと思う人の割合：80%以上</p>	<p>・事業参加者のアンケートにより、結婚して子どもを持ちたいと思う人の割合：結婚したい 69% 子どもが欲しい 63%</p>	<p>・いのちふれあい事業【H28～H31】 （中高生対象の子育て体験事業、若い世代を対象にした生命の大切さを伝える事業、家族の大切さを考える事業）</p>	<p>・参加者数：のべ1,000人</p>	<p>・参加者数：のべ1,044人</p>

②安心できる子育て支援					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
地域ぐるみの子育て支援 ◎地域ぐるみで子育てを応援する・育てる意識を高める。いつでも相談や集える場をつくることで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備する。	・3歳児健診時の母親の就業率：80%	・3歳児健診時の母親の就業率：未集計	・まにわ寄り合い事業【H28～H31】 （子育て家庭の保護者同士や高齢世帯と交流し、子育て家庭を支援し地域の活性化につなげる場として、パパママカフェ、つどいの広場、子育てサロン＆認知症カフェの設置事業）	・カフェなどの開設数：22か所	・カフェなどの開設数：5か所
			・里親ジジババ事業【H28～H31】 （里親ジジババ、子育てパパママ応援団など、地域や職場ぐるみで子育て世代を支援する。高齢者による支援を中心に実施する）	・ボランティア養成講座の参加者数：のべ100人 ・ボランティア登録者：のべ80人 ・ボランティア団体登録数：5団体 ・事業所認定数：5事業所	・ボランティア養成講座の参加者数：30名 ・ボランティア登録者：30名 ・ボランティア団体登録数：2 ・事業所認定数：なし
			・園庭開放事業【H28～H31】 （小学校の園庭を休日等に開放する）	・小学校実施率：95%以上	・小学校実施率：0%
切れ目のない子育て支援 ◎真庭市において、様々な子育てサービスを提供し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備 （真庭子育て世代包括支援センター）	・支援ニーズの高い妊産婦や子育て家庭への支援実施割合：95%以上	・支援ニーズの高い妊産婦や子育て家庭への支援実施割合：100%	・不妊治療支援事業【H28～H31】 （保険適用外の不妊治療にかかった費用を年度20万円を上限に助成する）	・不妊治療支援事業申請者数 のべ240件	・不妊治療支援事業申請者数 のべ216件
			・不育治療支援事業【H28～H31】 （日本生殖医学会が認定した生殖医療専門医が所属する医療機関で不育治療をうけた方を対象に、年間30万円を上限に助成）	・不育治療支援事業申請者数 のべ8件	・不育治療支援事業申請者数 のべ3件
			・妊産婦ケア事業【H28～H31】 （ワンストップ相談窓口を中心とした、産後安心ケア事業、病児保育事業、レスパイト等、妊娠から子育て世代まで支援する事業）	・ワンストップ相談窓口設置数：7か所	・ワンストップ相談窓口設置数：1か所
			・病児保育事業【H28～H31】 （病児保育事業の実施に向けた許認可や支援）	・病児保育事業所設置数：2か所	・病児保育事業所設置数：1か所
			・“里山まにわ”からの贈り物事業【H28～H31】 （幼児期から木と触れ合うことを通して心を育む木育を推進するきっかけづくりとするため、木のおもちゃを贈呈）	・新生児家庭への交付率：100%	・新生児家庭への交付率：99.4%
文化芸術交流支援 ◎子育て世代を対象に、文化面での親子の触れ合いや交流ができる環境整備	・事業参加者数：のべ12,000人	・事業参加者数：のべ17,720人	・多様な文化交流事業（地域交流事業）【H27～H31】 （勝山体験クラフト市事業、映像フェスティバルや親子コンサート、幼児体操教室など親子を対象とした文化交流事業、大学等との共同による映像文化発信事業）	・開催回数：のべ15回 ・クラフト市交流人口：1,000人	・開催回数：のべ15回 ・クラフト市交流人口：2,911人

③子どもと大人を応援する教育支援					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
本の香りがするまちづくり	・1人当たり貸出冊数：10冊/年	・1人当たり貸出冊数：6冊/年	・司書資格取得の支援【H27～H31】	・司書資格取得者の図書館スタッフ：のべ5人	・司書資格取得者の図書館スタッフ：のべ6人
			・市民主体の図書館運営【H28～H31】 （地域ごとに特色ある運営を、司書資格を取得した地域住民を中心として行う）	・まにわ本クラブの登録者数：10人 ・運営ボランティア団体数：1団体	・まにわ本クラブの登録者数：12人 ・運営ボランティア団体数：1団体
			・図書館の整備【H28～H31】 （中央図書館の整備、自動車文庫の運行、学校やまち並み図書館との連携）	・1人当たり貸出冊数：10冊/年	・1人当たり貸出冊数：6冊/年
行きたい学校づくり事業 ◎地域のちからで子どもの人生を応援する学校づくり	・学校を楽しんでいる子どもの割合：95%	・学校を楽しんでいる子どもの割合：84%	・放課後学習サポート事業（含補充学習）【H28～H31】 （地域住民が児童生徒の放課後学習を支援する）	・実施校：100%	・実施校：70%
			・ICT・MITを活用した学習環境づくり事業【H28～H31】 （ICTやMITを活用し、どこに住んでも子どもの学習意欲を支援できる環境をつくる）	・ほぼ毎日ICT・MITを活用した事業実施状況：実施率80%	・ほぼ毎日ICT・MITを活用した事業実施状況：実施率100%
			・学校支援地域づくり事業【H28～H31】 （地域の人々が様々な場面で学校を応援することで、子ども・保護者・教師の学校活動を支援する）	・学校支援地域本部設置校数：5校 ・ボランティア数：250人	・学校支援地域本部設置校数：5校 ・ボランティア数：264人
ふるさとを学び、知る「ひと」づくり事業 ◎真庭市のことを市民がしることで、大人も子どもも真庭市に誇りをもてるようにする	・地域の行事に参加する子どもの割合：83%	・地域の行事に参加する子どもの割合：76%	・地元企業と連携した学習事業【H28～H31】 （地元企業の専門分野や得意分野を生かした学習事業を実施し、地域や地場産業のことを知る）	学習事業数：のべ30回 参加者数：のべ2,000人 協力事業所数：10事業所	学習事業数：のべ30回 参加者数：のべ11,580人 協力事業所数：161事業所
			・人材育成支援事業【H28～H31】 （地域住民の人による、地域の歴史、自然、文化を生かした学習事業を実施し、多彩な真庭について体験する事業。森のようちえんなど）	・実施団体数：のべ15団体 ・参加人数：のべ450人	・実施団体数：のべ10団体 ・参加人数：のべ956人
			・まにわブックス事業【H28～H31】 （地域の人による、地域の人のための、地域のここの本出版事業）	・まにわブックス出版タイトル数：1タイトル/年	・まにわブックス出版タイトル数：1タイトル/年
			・放課後児童クラブ・放課後子ども教室一体化事業【H28～H31】 （放課後児童クラブ・放課後子ども教室・地域交流について、同一の拠点施設を中心にして一体的な取組を行う）	・事業化数：2か所	・事業化数：1か所
生涯を通じた学びの環境 ◎人生・生活を豊かにできる環境をつくり、真庭市での生活を充実させる	・自主的な文化活動数：のべ15件	・自主的な文化活動数：のべ38件	・芸術アウトリーチ事業【H28～H31】 （都市部と比べ文化にふれる機会が少ないので、上質な芸術文化の機会を提供する）	・体験事業数：のべ12回	・体験事業数：のべ45回
			・学びあつまちづくり事業【H28～H31】 （子ども遊びボランティアの育成など、地域の人々が中心となった学習環境づくり）	・情報紙掲載講座数：170講座 ・ボランティア数：のべ5人	・情報紙掲載講座数：194講座 ・ボランティア数：70人

## 4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

### 1) 基本目標

- ①今後も真庭市に住み続けたい意志がある割合：85%以上（H26市民アンケート調査：76%） → アンケート未実施
- ②住民主体の事例（住民会社の設立・運営、拠点づくり等）：5件 → 14件
- ③公共施設・公有土地の有効活用事例：30件 → 30件
- ④市内公共交通への満足度：80%以上（H26アンケート調査：72%） → 75%(H30)

### 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ①だれもが生活しやすい都市づくり（都市基盤・機能向上）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
中心市街地の形成と景観に配慮したまちづくり ◎真庭市マスタープランの改定、景観整備の検討	・街の魅力と自然がほどよく共存していると感じる割合：50%以上（H26市民アンケート調査：48%）	アンケート未実施	・真庭市マスタープラン改定事業【H28】 （中心市街地の意義、回遊道路・親水公園の整備等）  ・落合地域振興事業（中心部活性化）【H27～H31】 （落合総合センターを拠点とした地域活性化、空き家や遊休施設などの資源と利用したい人とを結びつけて地域の活性化を図る）  ・「まにわらしさ」のある景観整備の検討【H28～H30】 （景観プロモーションと案内看板の統一）  ・旭川サイクリングロード整備事業【H28～H30】	・マスタープランの改定：H28年度末  ・関係者会議開催数：18回 ・地域資源活用回数：18回 ・空き施設等の活用数：3カ所  ・案内看板の整備：H30年度未完了  ・整備延長：23km	・マスタープランの改定：改定に向け準備中  ・関係者会議開催数：26回 ・地域資源活用回数：20回 ・空き施設等の活用数：2カ所  ・案内看板の整備：H30年度未完了  ・整備延長：25km ※一部計画変更による延伸
住まいのあり方検討 ◎住まいの確保のあり方の検討	・新築家屋件数：750件（5年）	・新築家屋件数：663件（5年）	・住まいのあり方検討事業【H27】	・新築家屋件数：750件（5年）	・新築家屋件数：663件（5年）
公共施設等有効活用 ◎未利用公共施設等の有効活用への提案	・活用実績：30件（5年）	・活用実績：30件（5年）	・未利用公共施設・公有遊休地の有効活用事業【H28～H31】 （活用案のアイデア募集）	・利活用可能な物件の掘り起こし件数：50件	・利活用可能な物件の掘り起こし件数：50件
効率的・効果的な公共交通体制の構築 ◎公共交通ネットワークの再編検討	・公共交通利用者数：189,000人以上	・公共交通利用者数：174,659人（H30年度）	・効率的・効果的な公共交通のあり方の検討【H27～H31】  ・まにわくん（枝線）に代わる交通手段の活用検討事業【H28～H31】 （タクシー、有償ボランティア移送等の検討）  ・まにわくんによる貨客運送の検討【H28～H31】 （貨客混載運送の活用案の検討）  ・まにわくん（枝線）の利用促進事業【H28～H31】 （バス標柱設置等）	・効率化への具体的見直し件数：2件  ・タクシーや有償ボランティアによる効率化の取り組み：3箇所  ・貨物運搬等活用事例：1例	・効率化への具体的見直し件数：2件  ・タクシーや有償ボランティアによる効率化の取り組み：1箇所  ・貨物運搬等活用事例：0例
				・枝線の利用者数：平均3.0人/便	・枝線の利用者数：平均2.63人/便

②豊かな暮らしを支える仕組みづくり（制度・人的仕組）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	左記の現状
安全安心なまちづくり ◎災害に対する対応の強化	・自主防災組織組織率： 80%	・自主防災組織組織率： 76.7%	・地域防災計画作成業務事業【H28～H31】 （避難所の見直し、避難経路の確認等）	・避難所見直し箇所：80箇所（土砂災害警戒区域内全箇所）	・避難所見直し箇所：37箇所（土砂災害警戒区内全箇所）
			・自主防災組織育成強化事業【H28～H31】 （自主防災組織の体制強化）	・自主防災組織組織率： 80%	・自主防災組織率：76.7%
豊かな生活を地域で支える仕組みづくり ◎住民が主体的に行う活動の支援	人と人との付き合いがあり、地域で支えあっていると感じる割合：70%以上（H26市民アンケート調査：61%）	アンケート未実施	・落合地域振興事業（拠点づくり）【H27～H31】 （地域住民が主体となり運営するサロンや学童保育など交流拠点をつくり、持続可能な生活圏をつくる）	・関係者会議開催回数：13回 ・先進地視察実施回数：6回 ・交流拠点施設数：3カ所	・関係者会議開催回数：20回 ・先進地視察実施回数：4回 ・交流拠点施設数：3カ所
			・美甘地域振興事業（拠点づくり）【H27～H31】 （各組織が連携し、持続可能な集落維持、再生の仕組みを構築）	・地域拠点形成数：1カ所 ・協力団体数：16団体	・地域拠点形成数：0カ所 ・協力団体数：20団体
			・久世地域振興事業（中心部空き家活用）【H29～H31】 （地域コーディネーターを設置し、空き家を活用したアクティブシニアの移住促進）	・地域コーディネーター設置 ・遊休施設の活用数：10件/3年	・地域コーディネーター未設置 ・遊休施設の活用数：5件/3年
			・熟年者がまちを支える仕組みづくり事業【H28～H31】 （熟年者の就労機会増等に関する研究会、先進地視察の実施）	・新たな業種の開拓：5件	・新たな業種の開拓：5件
			・自転車を活用した健康づくり推進事業【H27～H31】 （パンフレット作成による普及啓発等、医療機関や観光業界との連携、新規ルートの検討）	・イベント参加人数：300人	・イベント参加人数：403人

## 5. 地域と地域を連携する（広域連携の推進）

### 1) 基本目標

①連携中枢都市圏の形成 → 岡山市を中心に連携中枢都市圏を形成

②地域間連携協約の締結 → 「連携中枢都市圏形成に係る連携協約」を締結

### 具体的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ①地域連携による経済成長（政策レベル）

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年	各事業の達成目標	左記の現状
産業連携の推進 ◎地域資源を活用した地域間連携による産業発展と地域活性化	雇用の創出 交流人口増加	・新規雇用者数：CLT 製造工場・ラミナ製造工場・裾野産業：120人（再掲） ・交流人口：6,070人（再掲）	CLTモデル建築物設置普及推進事業（CLTを活用した里山まにわのランドマーク施設の建設）	CLTの普及による雇用者数	CLTの普及による雇用者数：120人（再掲）
			CLT等木材利用普及推進事業（CLT活動拠点施設整備、ラミナ安定供給研修会、普及推進イベント）	CLTの普及による雇用者数	CLTの普及による雇用者数：120人（再掲）
			新技術・新商品開発等に関するコーディネーター等専門家の設置・派遣、講座の開設（岡山市内に所在する大学、研究機関等と協力した専門家派遣制度の構築、新素材や新技術に関する事業者向け講座の開設）	講座開設数	未実施
			異分野異業種交流や製造業事業者間マッチングの実施（異分野異業種が集う交流会の開催、素材生産者と製造業者、製造業者と小売、卸業者等のマッチングの実施）	新事業創出数	新事業創出数：16件
			商品ブランドの制度化、流通連携とマッチングによる販路の拡大（旭川流域の地域資源を活用した商品を対象とする「旭川ブランド」を創設）	旭川ブランド認定数	未実施
			外国人観光客もターゲットとする岡山真庭周遊プランと2次交通の整備（岡山駅または岡山空港を発着地とした、外国人観光客もターゲットとする周遊プランの構築）	周遊ツアー参加者数	周遊ツアー参加者数：56人

#### ②地域連携による高次都市機能の集積

具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年	各事業の達成目標	左記の現状
交通交流 ◎産業発展と地域活性化のため、岡山市と真庭市を結ぶ主要道路の整備促進	岡山自動車道全線4車線化	岡山自動車道全線4車線化：10～15年後完成予定	岡山市と真庭市を結ぶ主要道路の整備促進（岡山道の利便性の向上に向けた要望、国道及び主要地方道の整備促進に向けた要望）	岡山自動車道の利用者数	岡山自動車道の利用者数 有漢IC～北房JCT間 H27：9,189台/日 H30：9,117台/日 R1：9,145台/日
医療福祉 ◎岡山市民病院との連携による、医療サービスの提供及び医師不足の解消	医師不足解消	地域枠医師等を確保	高度医療、医師不足対策（岡山市民病院との連携による、高度な医療サービスの提供及び医師不足の解消）	医師派遣頻度の向上	地域枠医師等を確保



③地域連携による生活関連機能サービスの向上					
具体的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標	左記の現状	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年	各事業の達成目標	左記の現状
教育・スポーツ ◎水資源・森林資源など各地域の良さを発掘し紹介し合う学習等に取り組み、自他の地域を尊重しようとする心を養う	真庭市を誇りだと思える割合の向上	住んでいる地域が好きな割合 小学5年：91.3%→92.8%（県88.9%→92.6%） 中学2年：84.7%→92%（県82.7%→87.6%） （県調査・H29年度とR元年度の比較）	ICTの活用や直接交流を通じた交流学习の実施（ICTを活用した日常的な交流学习、統一テーマに基づく合同学習と直接交流）	交流会等開催回数	交流会等開催回数 【環境課】39回 【学校教育課】4回
	移住者数増	・移住者数：204人（再掲）	環境交流「森のようちえん・プレイパーク」のカリキュラム化（真庭市の豊かな自然を活用した「森のようちえん」又は「プレイパーク」の開催）	森のようちえん等開催回数	森のようちえん等開催回数計5回 （真庭・トンボの森づくりは計27回）
環境（旭川） ◎旭川流域自治体の地域住民の交流や、全国に向けた情報発信	・旭川清流化連携組織立ち上げ ・旭川水質改善	・旭川清流化連携組織立ち上げ：0件 ・旭川水質改善：BOD年平均値 1.3mg/l(H20)→1.0mg/l(R1)	ESDと水源の里シンポジウムの取り組みの発展的継承（「旭川流域、上流下流（岡山市）の連携」をテーマにした連携事業（環境・水源・観光・産業・交流・文化・教育等）、河川管理者との連携による水質改善と河川環境保全の推進、）	市民活動団体による連携事業数	市民活動団体による連携事業数 【交流定住推進課】2事業 【環境課】3事業
行政連携 ◎市民協働に係る各種情報交換等による連携した協働のまちづくりの推進	NPO法人設立	NPO法人設立件数：4件	NPO等に対する各種情報提供、育成に関する支援（NPO等の情報共有、ESD・市民協働推進センター（岡山市）の講座開催）	市民活動団体交流数	市民活動団体交流数 3回
	公共施設利用者数増	公共施設利用者数増	公共施設の相互利用（公共施設の相互利用による施設利用促進）	相互施設利用数	相互施設利用数 【財産活用課】140（3市町の施設訪問でプレゼントされるストラップ配布数）